

第7期
事業計画・収支予算

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

一般財団法人 **あすなる会**

事業計画

平成30年4月1日から

平成31年3月31日まで

I 普通会員事業

種 目		回数	摘 要
研 修 会	茶 道 教 室 (本部・新橋)	43	毎週木曜日、(6:00P.M.~8:00P.M.) 表千家茶道のけいこ 指導 表千家教授 白鳥宗清先生
	書道・ペン習字教室 (本部・新橋) (会館・押上)	47	会館・第一、第三水曜日、(6:00P.M.~8:00P.M.) 本部・第二、第四木曜日、(6:30P.M.~8:30P.M.) 書道・ペン習字の練習 指導 日本ペン習字研究会師範 大野秋陽先生
	英 会 話 教 室 (本部・新橋)	43	毎週木曜日、(6:30P.M.~8:30P.M.) 英会話のレッスン 指導 在日外国人講師
	着物着付教室 (本部・新橋)	20	第一、第三木曜日 (6:00P.M.~8:00P.M.) 着物着付の習得 指導 川口れい子先生
	い け 花 教 室 (会館・押上)	4	第一、第三水曜日、(6:00P.M.~8:00P.M.) いけ花のけいこ 指導 池坊教授 荒川秀芳先生
	新社会人研修	1	新社会人に対する支援研修
	新 教 室	2	一日教室等可能なものから順次実施する
スポーツ・ レクリエーション	1	5月 山中湖ロードレース大会 (一周・ハーフ)	
	1	12月 教養教室受講生懇親会	
つ ど い	1	9月 創立56周年 あすなろ祭	
	1	1月 第55回 祝成人・新年のつどい	
奨学金支給制度		大学に在学中の学業成績優秀な者で、かつ大学より推薦された者 に対し、月額4万円を無利息で貸与する。 (今年度は2名貸与の予定。4P最下段参照)	
カウンセリング		会員のよき相談相手となり、出来る範囲にて援助と助言を行う。	

Ⅱ 賛助会員事業

種 目	回数	摘 要
合同時局講演会	1	・ 5月10日（木）〔第17回〕大東京信用組合との共催講演会 講師 第1部 島田晴雄先生 第2部 田村潤先生（新宿京王プラザホテル）
研 究 会	1	・ 11月7日（水）～8日（木）〔第87回〕中小企業経営環境研究会 講師 未定 (箱根湯本ホテルおかだ)
	2	・ 中小企業の後継者育成とその支援事業 大信ひまわりの会、八王子しん研青年部セミナーへの協賛

Ⅲ その他の事業

種 目	回数	摘 要
会 誌	1	・ 年1回 1月に発行
会 報	2	・ 年2回 5月・10月に発行
図 書 貸 出		・ 本部事業所においては常時開放して貸出
協 力 事 業		・ 厚生労働省が提唱する「若者支援」事業への協力 ・ (一社)日本勤労青少年団体協議会主催による行事に協力参加 ・ 大信各店舗における啓蒙と各種活動の支援

収 支 予 算

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

(1) 収入の部

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目				
財 産 収 入	基本財産受取利息	5	6	△ 1	
会 費 収 入	賛 助 会 費	11,550	11,550	0	
寄 付 収 入	特 別 寄 付	350	350	0	
事 業 収 入	茶 道 教 室	300	340	△ 40	
	い け 花 教 室	10	10	0	
	書道・ペン習字教室	150	140	10	
	英 会 話 教 室	200	230	△ 30	
	着 物 着 付 教 室	30	30	0	
	新社会人支援研修	0	0	0	
	新 教 室	15	12	3	
	つ ど い	0	0	0	
	研 究 会	11,000	11,000	0	
	スポーツ・レクリエーション	120	100	20	
	図 書 費	0	0	0	
	会 誌 ・ 会 報	0	0	0	
	小 計	11,825	11,862	△ 38	
雑 収 入	運用財産受取利息	2	2	0	
	雑 収 入	288	220	68	(注)1
	小 計	290	222	68	
当期収入合計	(A)	24,020	25,990	△ 1,970	
前期繰越収支差額		11,999	13,158	△ 1,159	
収入合計	(B)	36,019	39,148	△ 3,219	

(注)1. 店舗にある「活動費」残高全額を回収し雑収入に計上します。

(2) 支出の部

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目				
事 業 費	茶 道 教 室	600	600	0	
	い け 花 教 室	20	20	0	
	書道・ペン習字教室	540	540	0	
	英 会 話 教 室	520	560	△ 40	
	着 物 着 付 教 室	240	200	40	
	新 社 会 人 支 援 教 室	0	0	0	
	新 教 室	120	150	△ 30	
	つ ど い	3,800	5,500	△ 1,700	
	研 究 会	13,000	13,000	0	
	スポーツ・レクリエーション	500	400	100	
	函 書 費	50	50	0	
	会 誌 ・ 会 報	1,150	1,150	0	
	活 動 費	1,740	1,660	80	
	什 器 備 品 費	150	50	100	
	事 業 通 信 費	350	350	0	
	諸 雑 費	40	30	10	
	小 計	22,820	24,260	△ 1,440	
管 理 費	会 議 費	120	150	△ 30	
	福 利 厚 生 費	15	15	0	
	印 刷 費	250	350	△ 100	
	事 務 通 信 費	210	210	0	
	負 担 金	100	101	△ 1	
	交 通 費	300	300	0	
	光 熱 水 費	130	130	0	
	消 耗 品 費	50	50	0	
	消 耗 什 器 備 品 費	70	100	△ 30	
	諸 謝 金	280	280	0	
	事 務 用 品 費	30	30	0	
	新 聞 函 書 費	55	55	0	
	人 件 費	600	610	△ 10	(注) 1
	什 器 償 却 費	72	72	0	
	賛 助 会 員 表 彰 費	200	200	0	(注) 2
	管 理 諸 雑 費	200	150	50	
	租 税 公 課	120	120	0	
小 計	2,802	2,923	△ 121		
当 期 支 出 合 計	(C)	25,622	27,183	△ 1,561	
当 期 収 支 差 額	(A) - (C)	△ 1,602	△ 1,193	△ 409	
次 期 繰 越 収 支 差 額	(B) - (C)	10,397	11,965	△ 1,561	

(注)1. 大東京信用組合ご負担の役職員給与について、その一部を当会が負担することとし、人件費として計上しました。

2. 今年度も通算20回に亘り、賛助会費を納入された会員に対し感謝状と記念品を贈呈する費用を計上いたしました。

*今年度の奨学生は2名といたします。

当期末奨学貸付金は1,440,000円、当期末奨学返済金1,200,000円の見込みです。

*本会では借入する予定はなく、借入限度額も設けておりません。

事業収支予算

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

(1) 収入の部

(単位：千円)

科 大 科 目	目 中 科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備考
継続事業 1	茶 道 教 室	300	340	△ 40	
	い け 花 教 室	10	10	0	
	書道・ペン習字教室	150	140	10	
	英 会 話 教 室	200	230	△ 30	
	着 物 着 付 教 室	30	30	0	
	新社会人支援研修	0	0	0	
	新 教 室	15	12	3	
	小 計	705	762	△ 57	
継続事業 2	つ ど い	0	0	0	
	小 計	0	0	0	
継続事業 3	研 究 会	11,000	11,000	0	
	小 計	11,000	11,000	0	
継続事業 4	スポーツ・レクリエーション	120	100	20	
	図 書 費	0	0	0	
	会 誌 ・ 会 報	0	0	0	
	奨 学 金 返 済 額	1,200	1,200	0	
	小 計	1,320	1,300	20	
合 計		13,025	13,062	△ 37	

※一般財団法人移行された継続事業について、事業別に収支予算書を作成しました。

(2) 支出の部

(単位：千円)

科 大 科 目	目 中 科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備考
継 続 事 業 1	茶 道 教 室	600	600	0	
	い け 花 教 室	20	20	0	
	書道・ペン習字教室	540	540	0	
	英 会 話 教 室	520	560	△ 40	
	着 物 着 付 教 室	240	200	40	
	新 社 会 人 支 援 研 修	0	0	0	
	新 教 室	120	150	△ 30	
	小 計	2,040	2,070	△ 30	
継 続 事 業 2	つ ど い	3,800	5,500	△ 1,700	
	小 計	3,800	5,500	△ 1,700	
継 続 事 業 3	研 究 会	13,000	13,000	0	
	小 計	13,000	13,000	0	
継 続 事 業 4	スポーツ・レクリエーション	500	400	100	
	図 書 費	50	50	0	
	会 誌 ・ 会 報	1,150	1,150	0	
	奨 学 金 支 給 額	1,440	1,440	0	
	小 計	3,140	3,040	100	
合 計		21,980	23,610	△ 1,630	
収支差額 (収入－支出)		△ 8,955	△ 10,548	△ 1,593	



あすなる会の目的

一般財団法人あすなる会は
働く青少年の育成・福祉向上への支援
ならびに中小企業の振興に
寄与することを目的とする

